

## 自立支援・生活行為の向上

～主体性を引き出す職員の行動～

社会福祉法人 杉の子  
片岡杉の子園デイサービスセンター  
生活相談員 藤澤 南  
機能訓練指導員 五十右 芳味

## Aさんについて

- ・ 女性
- ・ 94歳
- ・ 介護度 2  
(認知症なし)
- ・ 車椅子生活  
(移動以外は自立)
- ・ 心疾患の為、ペースメーカー使用
- ・ 過去に数回骨折
- ・ デイを週4回利用



## 職員の行動

- ・ 希望の聞き方
- ・ 利用者様の選択
- ・ デイサービスの位置づけ
- ・ 職員の先入観

## 職員があげた課題

- ・ 業務のゆとりの作り方
- ・ レクリエーションの幅を広げる取り組み
- ・ 職種間認識
- ・ 見えない介護の可視化
- ・ 「開かれた質問」の活用
- ・ 「在宅生活を1日でも長くする為の場所」にする為のサポート作り

## 業務のゆとりの作り方

- ・ ハード面:施設設備、家具の配置
- ・ ソフト面:実施サービス、物事の流れ

### 【今後の取り組み】

利用者様のデイでの生活リズムの把握  
職員の行動の見直し  
物品の整理整頓  
他のデイサービスの見学、情報収集

## レクリエーションの幅を広げる取り組み

個別レク:継続して行える環境が整えにくい、  
単発的  
集団レク:利用者様の要望も固定されつつある  
認知症の方や身体レベルによっても、  
選択の幅が狭まる

### 【今後の取り組み】

- ・ 集団レクでも選択性を取り入れる
- ・ 個別レクの目標、到達点を設定する

## 職種間認識

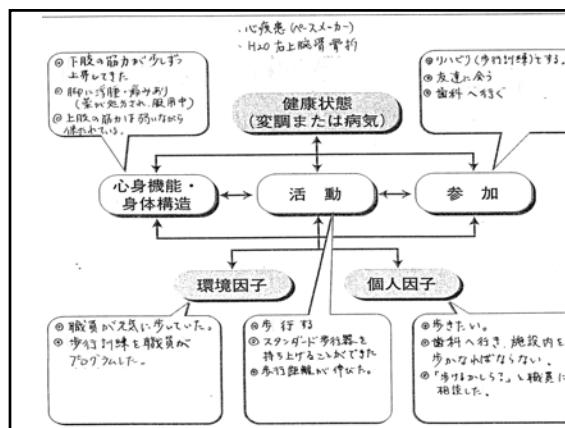
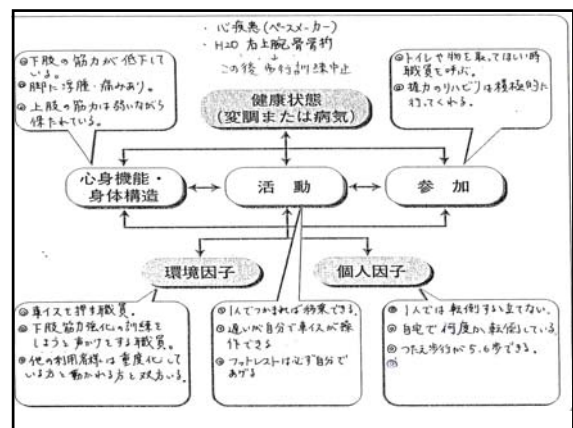
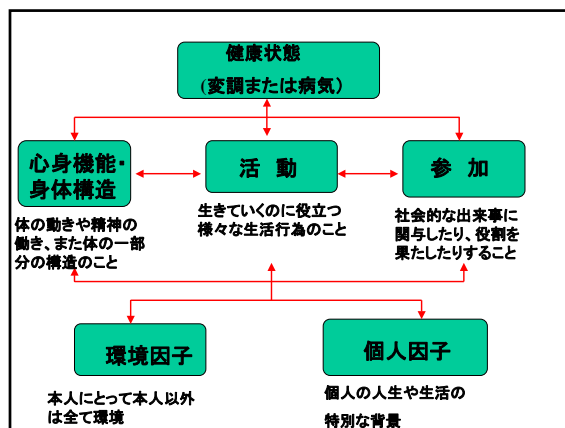
【例・Aさんについて】  
 機能訓練士: デイサービス内なら「歩ける」と考えていた  
 看護師: トイレ等の動作から短距離なら歩けると思っていた  
 相談員: 家族が希望している、今の数歩歩ける状態を保ちたい  
 介護士: 今の日常を保つことに専念し「歩ける」という発想にはならなかった

## 見えない介護の可視化

- ・気付いたことが記録に残りにくい
- ・休みの間の様子が把握しにくい
- ・援助の再確認がしにくい

### 【改善策】

- ・簡易的な記録ノートを作る
- ・写真の活用
- ・フェイスシートの作成



## 「開かれた質問」の活用

Aさんの件でリハビリの評価を見ると、Aさんが「やらされる」という思いになる言葉で勧めていたかもしれない。  
 「足を動かしてみましょうか？」  
 =「閉じられた質問」

「閉じられた質問」と「開かれた質問」を、その場に応じて使い分ける

### Aさんの機能訓練の評価

H21. 5
H22. 5

<p>本人の希望: 毎日歩きたい。</p> <p>初期 ( 〇月) 記載日: 〇年 〇月 〇日</p> <p>目標: 上肢も中心にいたる筋力低下防止</p> <p>メニュー: マーチング (20分)、マージン、膝の伸展、大股歩き (各10回)、浴槽入り (各10回)、両手カバ-体操 (各10回)、ボール投げ (各10回)</p> <p>年月日 氏名</p> <p>能力 ( kg 〇・重 )</p> <p>片足立ち時間 ( 秒 )</p> <p>最大歩行時間 ( 秒 ) TUG ( 秒 )</p> <p>身長: cm 体重: kg</p> <p>最近、歩行が不安定な状態にある。マージングも歩行が不安定な状態にある。浴槽入りも歩行が不安定な状態にある。両手カバ-体操も歩行が不安定な状態にある。ボール投げも歩行が不安定な状態にある。</p> <p>〇年 〇月 〇日 氏名</p> <p>地域包括支援センターへの報告</p>	<p>本人の希望: 高齢者へ行くための歩行したい。</p> <p>中期 ( 〇月) 記載日: 〇年 〇月 〇日</p> <p>目標: スクワットが出来る 安定させる。</p> <p>メニュー: 歩行訓練 (歩行の速度・距離)、マージン、浴槽入り (各10回)、両手カバ-体操 (各10回)、ボール投げ (各10回)</p> <p>年月日 氏名</p> <p>能力 ( kg 〇・重 )</p> <p>片足立ち時間 ( 秒 )</p> <p>最大歩行時間 ( 秒 ) TUG ( 秒 )</p> <p>身長: cm 体重: kg</p> <p>歩行訓練・浴槽入りも歩行が不安定な状態にある。マージングも歩行が不安定な状態にある。両手カバ-体操も歩行が不安定な状態にある。ボール投げも歩行が不安定な状態にある。</p> <p>〇年 〇月 〇日 氏名</p> <p>地域包括支援センターへの報告</p>
---	--

### 「在宅生活を1日でも長くする場所」




- エコマップ、フェイスシートの活用
- 家族とのコミュニケーション

- ### 職員の考える自立・主体性とは
- 本人のやりたいことができる
  - 本人ができることをする
  - できることは自分でする
  - 一つの行動ができるようになる
  - 日常生活ができる
  - 家族がやって欲しいと思っていることができる
  - 上記のことが持続できる

